

体温計

新しい看護を始めています。

静岡病院では

もつと寄り添う。

もつと近くで

特集

看護部長に聞く
「セル看護提供方式[®]」導入の想い



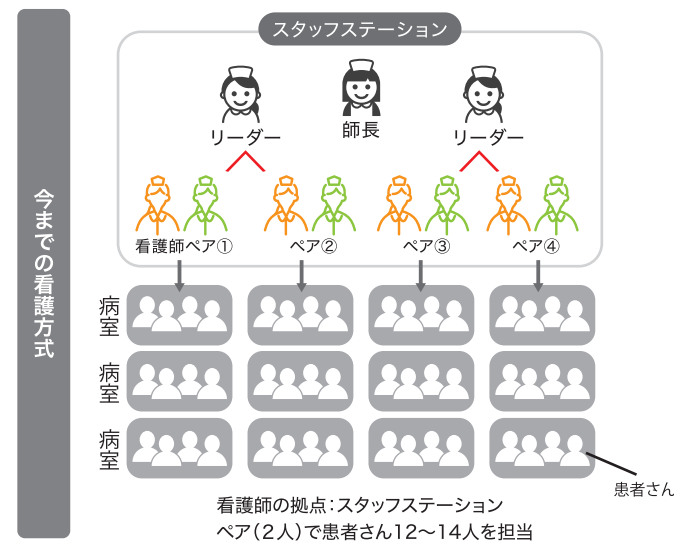
看護部長に聞く「セル看護提供方式®」導入の想い

私たちはもっと患者さんの近くで声を聞き
変化に気づき寄り添う看護をしたい。
その思いを実現するために
新たな取り組みをはじめています。

Nursing

当院では、新たな看護提供体制として「セル看護提供方式®」を導入しています。

今までの看護方式とセル看護提供方式®の違い



セル看護提供方式®を導入した理由を教えてください。

私たち看護部は「患者さんのよりよく生きようとする力を引き出す看護の提供」を理念に掲げています。その実現のためには「患者さん一人ひとりに関心を寄せ、必要な時に必要な看護を丁寧に届ける」ことが大切だと考えています。セル看護提供方式®を導入した理由も、まさにそこにあります。

セル看護提供方式®とは、看護師の拠点を、スタッフステーションではなく患者さんのそばに置き、いつも関心を寄せることで「先回りのケア」や「今、必要なケア」を丁寧にを行うことができる仕組みです。

どのようなことを見直したのでしょうか。

一つは「看護師の動線」です。従来のようにスタッフステーションと病室を何度も往復するのではなく、移動時間を減らして患者さんのケアに充てる時間を増やします。そのために、ケアに必要な物品を看護師が持ち歩くなどの工夫をし、看護師は患者さんのベッドサイドを拠点として業務を行います。患者さんのそばにすることで、より細やかに状態の変化を把握し、一人ひとりに必要な看護を適切なタイミングで提供できるようになります。

もう一つは「人員配置」です。師長を除く全ての看護師が均等に患者さんを受け持つ方式に変更し、今までよりも一人の看護師が担当する患者さんの人数が減りました。看護師一人ひとりの業務を軽減し、スタッフ全体で、より質の高い看護を提供できる体制を整えられるようになっていきます。

患者さん・ご家族の声

病室の近くにいるので相談がしやすかった

同じ部屋の患者さんが転びそうになった時、看護師がすぐに気づいてくれてよかった

セル看護提供方式®導入による
現場の声

看護師の声

患者さんの「できる」を支える看護が充実した

歩行練習に付き添い、患者さんのうれしそうな表情を見ることができた

患者さんの希望を尊重した看護につながった

看護師の声

今必要なケアを丁寧に実践できるようになった

ナースコールにすぐ対応できる

爪切りや髭剃りなどの清潔ケアが充実した

看護師の声

患者さんに寄り添う時間が増えた

患者さんの話をじっくり聞く時間がもてるようになった

ご家族から声をかけられやすくなった

看護師の声

チームで支える看護がより充実した

患者さんの気持ちを医師に伝えることができた

リハビリの様子がわかり、理学療法士などのリハビリ担当者に相談ができた

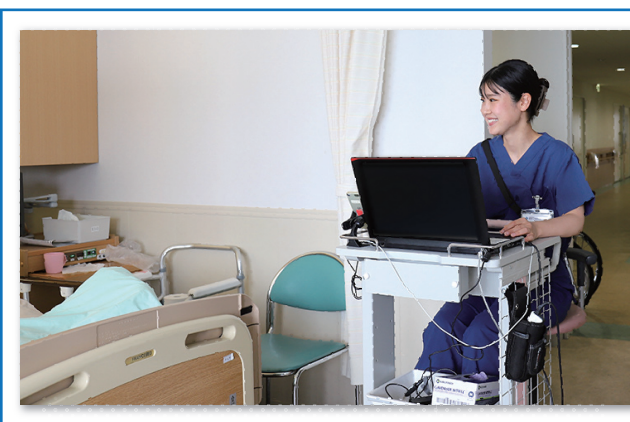
取り組みを始めて半年ほどですが、変化はありましたか？

さまざまな変化を実感しています。まず大きな変化は、看護師がこれまで以上に患者さんの日常の様子をより身近に把握できるようになったことです。表情や行動の変化、小さな不安や困りごとにも気づきやすくなり、必要なケアを迅速に提供できる場面が増えました。

また、患者さんとのコミュニケーションの機会も増えたことで、一人ひとりの思いや希望をより深く理解しながら看護を実践できるようになってきたと感じています。

そして最も大きな意義は、私たちが本来行いたい「患者さんに寄り添う看護」を提供しやすくなったことです。

患者さんとの時間が増えたことで、病状や気持ちの変化を早い段階で把握できるようになり、患者さんが「今、求めているケア」をキャッチし、先回りして提供しやすくなりました。

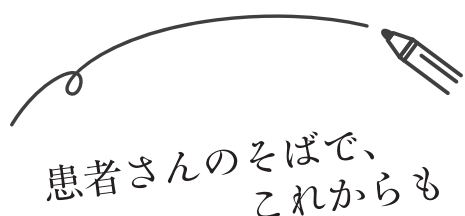


看護部長 青山 治子

今後、看護部として
どのような看護を目指していきますか。

セル看護提供方式®の導入から半年が経過し、患者さんやご家族からは「近くにいると安心できる」「相談しやすい」といった声が寄せられています。また、看護師同士の連携や働きやすさの向上、看護学生にとっても学びやすい環境づくりにもつながっています。

しかし、私たちの目標はセル看護提供方式®の導入そのものではありません。一人ひとりの患者さんに寄り添い、その人が持つ「よりよく生きようとする力」を引き出す看護を実践することです。患者さんのそばで、今必要な看護を丁寧に。これからも患者さんやご家族が安心して療養できる環境づくりに努め「静岡病院に入院してよかった」と思ってもらえる入院生活の提供を目指してまいります。



地域の医療を守り続けるためには、今患者さんに提供している看護だけでなく、その看護を未来へつないでいくことも大切です。

少子高齢化が進む中、医療現場では将来を担う人材の育成がますます重要になっています。当院では、患者さんに質の高い看護を提供するとともに、看護学生や新人看護師が安心して学び、成長できる環境づくりにも力を入れています。

セル看護提供方式[®]では、看護師が患者さんの近くで業務を行うため、看護学生や新人看護師が先輩看護師へ相談しやすく、患者さんへの関わり方や状態変化への気付き、多職種との連携などを日常の実践の中で学ぶことができます。

現場で学び、経験を積んだ若い看護師が成長することは、将来にわたって地域へ安定した医療を提供することにつながります。

私たちは、患者さんに寄り添う看護を実践するとともに、その看護を受け継ぐ人材を育てることで、これからも地域の皆さまに安心していただける医療の提供を目指してまいります。



第17回

静岡病院フェア 令和8年12/5(土)開催

場所 静岡市立静岡病院 静岡市葵区追手町10番93号

入場無料

腹腔鏡手術
・内視鏡など
体験コーナー

健康づくりに
役立つ情報を
ご紹介

医療の仕事や
現場を
身近に体感



詳細は病院HP・LINE・チラシ等
でお知らせします。
内容については、変更となる
可能性があります。



友だち登録してね！

お問い合わせ
第17回静岡病院フェア事務局(静岡病院総務課内)

TEL 054-253-3125

市民健診
センター

人間ドック | 脳ドック | 健康診断 | レディース検診

予約制 / 当日結果説明 ※検査項目により当日結果説明不可場合があります。

受付
月～金 10:30～16:00

※祝日、年末年始を除く

ご予約・お問い合わせ
市民健診センター 054-253-3125 (内線5350)

外来受診
ご案内

受付時間 | 午前8:00～午前11:30

休診日 | 土・日曜日、祝日、年末年始

※一部、受付曜日や時間が異なる診療科があります。
※担当医は都合により変更することがあります。

急病時
連絡先

24時間受け付けています

救急外来: 054-253-3125 (代表)

心臓救急: 054-252-4399



地方独立行政法人
静岡市立静岡病院
SHIZUOKA CITY SHIZUOKA HOSPITAL

〒420-8630 静岡市葵区追手町10番93号
TEL 054-253-3125 / FAX 054-252-0010
URL <https://www.shizuokahospital.jp/>



静岡市立静岡病院広報 体温計 第167号
令和8年8月(季刊発行)
発行: 地方独立行政法人静岡市立静岡病院
広報委員会(総務課 総務・企画係内)